

競 技 注 意 事 項

- 1 この大会は、2016年日本陸上競技連盟競技規則、及び本大会の規定により審判する。
- 2 招集について
 - (1) 招集所は、本部ダッグアウトの上段に設ける。
 - (2) 招集の開始時刻、完了時刻は、プログラムの競技日程欄に記載されている。
 - (3) 招集の手順
 - ① 出場選手は、あらかじめ招集所に掲示した実施種目の記載内容を確認し、誤りがあれば競技者係に連絡する。
 - ② 招集開始時刻までに招集所で待機し、本人が点呼を受ける。その際に、ナンバーカードとスパイクシューズのチェックを受ける。点呼を受けない選手は棄権とみなされ、出場できない。
 - ③ 点呼の代理は認めない。但し、同一時刻に2種目以上出場する選手は、必ず事前に競技者係に口頭で申し出て許可を得ること。許可を得た場合に限り、代理人による点呼を認める。
- 3 スターティングブロックを含め、用具については競技場備え付けのものを使用する。
ハンマー・やりは検査を受けて自己のものを使用してもよい。その用具については、競技開始時刻の1時間前に、本部横で検査を行う。
- 4 スタートはイングリッシュコマンドとし、不正スタートをした者は失格とする。
- 5 競技運営の都合上、5000m競歩では、男子36分、女子42分で競技を打ち切る。
- 6 練習については、補助競技場が付設されていないため、競技に支障をきたさない範囲で競技場内での練習を認める。ただし、投てき練習は一切禁止する。
- 7 トラック競技のレーン、フィールド競技の試技はすべてプログラム記載の番号順とする。
- 8 決勝の組合せは、すべて番組編成員が公正に行ない、招集所および掲示板に掲示する。
- 9 リレーのオーダーは、招集場で競技者係から用紙を受取り、オーダー他必要事項を正しく記入し、招集開始1時間前までに競技者係に提出する。
- 10 走高跳のバーの上げ方は、次のとおりとする。

男子	練習(1m20)	25-30-35-40-45-50-55-60-65-70-73	(以降3cmきざみ)
女子	練習(1m00)	05-10-15-20-25-30-35-40-45-50-53	(以降3cmきざみ)

(優勝決定のためのバーの上げ下げは2cmとする)
- 11 スパイクシューズを使う場合は、9mm以下の全天候型スパイクピンを使用すること。ただし、走高跳・やり投は12mm以下とする。
- 12 表彰について
 - (1) 種目別の表彰は1位のみとする。
 - (2) 総合の部の表彰は、男女とも1・2年総合と各学年総合が3位まで、トラック、フィールドの部は各学年男女別に1位のみとする。
 - (3) 各学年男女別に優秀選手賞を設ける。
- 14 個人情報の取り扱いについて、本大会に関して寄せられた個人情報は、本大会の目的以外には使用しない。尚、参加申し込みの提出により、個人情報のプログラムや掲示板への掲載、さらに本大会が認めた報道機関に公表し新聞等で公開されることを承諾したものとみなす。
- 15 競技終了後の用器具の片付けは、参加各校が協力して行うこと。また、使用したスタンド周辺の清掃にも積極的に取り組むこと。